

※このチラシは、隣接する信太小学校区にも配布しています。 令和3年10月 和泉市

9月22日(水)に第2回学校開校準備委員会を開催し、「校名の決定方法」についての意見交換や新校舎の整備についての説明を行いました。

「校名の決定方法」について意見交換！

「校名の決定方法」について意見交換を行い、富秋中学校区に在住の方や卒業生、教職員などを対象に公募を行うこととなりました。

(公募対象)

- ・富秋中学校区に在住の方
- ・幸小学校、池上小学校、富秋中学校の卒業生
- ・当該校区で勤務経験のある教職員(退職者含む)

(公募期間)

- ・令和3年11月30日(火)まで<必着>

※詳細及び応募用紙については、ミライの学校を創るプロジェクトNewsNo.8をご覧ください。



新校舎整備について

令和3年度については、新校舎の基本計画の策定をすすめており、新校舎における基本的な考え方について整理を行っていきます。具体的な内容については、令和4年度以降に検討します。

(当日の主な説明内容)

①富秋中学校の整備にあたって

- ・現在の富秋中学校が創立された際の、整備に関する想いや理念などの確認
- ・新校舎の整備方針を整理するにあたっての考え方の説明

②和泉市における水泳授業の考え方

- ・市としては、今後民間施設を活用した水泳授業を展開
- ・新校においては、プールを設置せず、民間施設を活用し、水泳授業を継続

③新校舎整備の基本的な考え方

- ・新校舎の規模や教室数、特別教室の考え方等について説明
- ・図書室の開放など地域開放の事例について説明

※①、②詳細については、裏面をご覧ください。

■ 富秋中学校の整備にあたって

(創立当時の理念)

- ・すべての学校で**教育の機会均等**等を保障
- ・義務教育の制度、内容、条件を満たすことのできる、**学校づくりの「モデル中学校」として**
- ・すべての子どもたちが、互いに理解し合い、協力し合っ、それぞれの持てる力を十分に伸ばしていけるような教育の場としてなど

(創立当時の施設・設備)

- ・「すべての生徒に教育の機会均等を保障」
→ 車イス用スロープや障がい者用トイレなど
- ・教育機器の整備
→ 視聴覚室や家庭科調理室 など
- ・健康教育増進
→ 体育館、テニスコート、プール、中庭 など
- ・文化活動、学校行事の殿堂 → 講堂



(新校舎の整備方針の整理にあたって)

- ・**創立当時の理念や富秋中学校区の文化を継承**しつつ、新しい学校像を整理
- ・異学年交流や発達段階に合わせた配慮など、小中一貫校としての機能の工夫
- ・式典や文化活動の場として、**交流・発表活動に配慮した整備**を検討
- ・和泉市全体の教育発展につながる**先進的な学校、未来につながる教育の場** など

■ 和泉市の新しい学校水泳授業の展開

- ・和泉市では、猛暑等の気候変動や施設の老朽化などを踏まえ、民間等屋内プールを活用し、**「安全性」、「快適性」、「専門性」**の3つの観点から新しい水泳授業を展開していきます。
- ・今年度、榎尾中学校と光明台南小学校で**民間プールを活用し、水泳授業をモデル実施**しています。

子どもたちの感想

- ・温水で虫などもいなくて泳ぎやすかった
- ・コーチが一人ひとりに細かく、丁寧に教えてくれた
- ・色々な練習ができて楽しかった
- ・「いやだ」と思っていたプールが楽しくなった



※次回の開催では、校名の応募状況の報告や新校舎整備について意見交換を行っていく予定です。

メール登録で 情報をお届け！ & ご意見をお寄せください！

メール登録をしていただければ、富秋中学校区の新しい学校の検討についての情報を受け取ることができます。また、みなさんからのご意見もお寄せください。登録は下記アドレス宛て、もしくは右のQRコードを読み取っていただき、お名前、「ニュースレター希望」と記載のうえ、メールを送信してください。

【tomiaki@city.osaka-izumi.lg.jp】

